



北

海道に普通のキツネと見た目の違うキツネがいることはあまり知られていません。それが今回紹介する黒いキツネ、じゅっし十字ギツネです。

「十字ギツネって何者？」

十字ギツネとは一体何者なのか。一説によると、キツネの毛皮が高値で売買されていた頃、千島列島などから連れて来られたキツネの子孫だと言われています。

名前の由来は「毛皮にして開いたときに黒い模様が『十字』に見えるから」という少し悲しいもの。その昔、美しい十字ギツネの毛皮は高く売れたそうです。

十字ギツネの生態などについて詳しいことは分かっていませんが、それは無理ありません。十字ギツネは数が少ないので、滅多に見ることができないのです。私も数回しか見たことはありませんでした。去年までは・・・

「十字ギツネを白糠町で発見！」

そんなとても珍しい十字ギツネ



トガリネズミラヴァー 六田晴洋の 私たちの ご近所さん



VOL. 3



十字ギツネの子ども。一見、タヌキや犬のようにも見える

「白糠にもいた！珍獣、十字ギツネ」

と、私は白糠町で出会いました。去年の夏、私はある人から「うちの前にタヌキのようなキツネみたいな黒い動物がいる」という話を聞きました。さっそく、その人のお宅へ行ってみると、いました。まさしく十字ギツネです。しばらくすると、茂みの中から次々と出て来るではありませんか。どうやら家族のようです。それが大人でそれが子どもなのか、はたまた全員子どもなのか、私にはよく分かりません



十字ギツネの家族。普通の毛色のキツネも混ざっている

PROFILE 六田晴洋

ろくたはるひろ 1986年生まれ。2021年に白糠町へ移住。大学卒業後、フリーランスのカメラマンやディレクターとして野生動物や自然風景を撮影している。
E-mail rokuta@six-h.com

でした。でも、追いかけてこをしたり戯れ合ったり、とても穏やかで幸せそうな時間が流れていました。
その家の人が言うには、十字ギツネを見たのは初めてのこと。きっとこの十字ギツネの親は、どこからかやって来て、自然が豊かで暮らしやすい白糠町を気に入って、子どもを産んだのでしょう。私は「十字ギツネがこのまま白糠に住み続けてくれたらいいなあ」と思っていました。その夏以降、十字ギツネたちを見ることはありませんでした。ところが先日、私の家の近くで一匹の十字ギツネを目撃したのです。きっとこの写真の中の一匹に違いありません。今年も白糠町のどこかで家族を作り遊び回っているのだろうか。また会いたいなあ。